

# 情報発信の最先端を学ぶ

第12次日本ネパール文化交流日本訪問団が20日、甲府市北口2丁目の山日YBS本社を見学した。山日YBSグループは新聞、放送を中核とする総合情報産業。インターネットのホームページや携帯端末などのデジタル・メディアにも情報を発信している。見学の一行は、山梨日日新聞の紙面の

作り方や、YBSテレビ・ラジオのニュースがどのように放送されるかを学んだ。YBSテレビの番組「ててて！TV」やまなしまるシェ」などに使うスタジオや、ラジオの生番組などを放送する「765ラララジオスタジオ」も見学。情報を発信する最先端の仕組みを学んだ。



## ネパール訪問団

# 山梨日日新聞

7月20日 木曜日

発行所 山梨日日新聞社  
〒400-8615 甲府市北口2-6-10  
電話 (055) 231-3000  
編集231-3111 FAX231-3161  
事業231-3121 出版231-3105  
広告231-3131 販売231-3132  
©山梨日日新聞社2017年

# 号外

# 見山日YBS 学学記念

# 年表・山日YBS

■山梨日日新聞社 7月7日(明治5)年7月11日(山梨日日新聞)創刊  
刊前81「山梨日日新聞」月4日と改題▶1966(昭和41)年11月26日(山梨文化会館1)年7月1日(新新聞製作)年7月1日(サンズ)年2月1日(新しい新聞)YBS山梨放送 年7月1954(昭和29)年7月1日(高橋ラジオリポ)開局▶59(34)年12月20日(36)年9月1日(山梨放送(YBS))と改名▶64(39)年10月1日(テレビのカラー放送開始)▶2006(平成18)年2月14日(デジタル放送)▶06(18)年7月1日(地上デジタル放送開始)

山梨日日新聞の第1号は、前時ごから発動。前後の仕事を本格化。締め切りの「中(ちゆう)新(しん)聞(ぶん)」の出来事チェックから「時間があるので、作業は1分一秒に追われる。日が始まる。本社勤務の取材チームや、韮崎市にある新聞印刷センターで、高橋オマセトの地方新聞の中で一番、整理部記者の仕事が深夜に及び、出勤は昼前から。印刷機を使って印刷が始まる。新(しん)社(しゃ)の一日は、朝早く恒(つね)屋(や)後(ご)2時(じ)の2回の午前時ご。新聞から夜遅くまで取材を続け習(しゆ)百(ひやく)の編集会議を開く。各記者、広告などの営業担当、新聞印刷センターを印刷する。山内ニュースは山梨日日新聞記者が取材執筆。きどニュースなどの面手配する販売担当、ホ(ほ)1(いち)どのくらい大ききで搬送機社から送られてくる。ウェブで情報を発信するが、求めていく。記事がパソコンで入力して、製作システム、サ(さ)ン(しん)ド(ド)ウ(ウ)の(の)写(や)真(ま)は透(と)れなく、紙面を製作。新聞印刷は24時間続いている。取材記者は事件、事故が送られてくる。午後6時を過ぎると、紙面のレイアウトが印刷可能な高性能なあれば夜中でも飛び出して、過ぎると、紙面のレイアウトが印刷可能な高性能な。搬送機を準備している。



パソコンを使い、ニュースを紙面化する整理部記者

山梨放送は1954(昭和29)年7月1日、山梨での合間に流すコマースリアルテレビ・ラジオともに自社最初の民間ラジオ局として、またスタジオは常に工夫、常に開局。59(昭和34)年からは、重(おも)い(い)ス(ス)ト(ト)の(の)視(し)聴(てい)察(さ)を(を)請(こ)う(う)て(て)い(い)る(る)。ラジオのスタジオ制作は、早朝(はやあけ)に出社して、2006(平成18)年7月1日からの地上デジタル放送。自社制作番組の取材や中継番組のため準備を始める。番組の企画、取材、編集、放送のフローチャートは、現行のYBSの「放送局の一日」では山梨の情報が、伝(つた)わ(わ)る(る)に(に)あ(あ)る(る)て(て)い(い)る(る)。山梨放送は1954(昭和29)年7月1日、山梨での合間に流すコマースリアルテレビ・ラジオともに自社最初の民間ラジオ局として、またスタジオは常に工夫、常に開局。59(昭和34)年からは、重(おも)い(い)ス(ス)ト(ト)の(の)視(し)聴(てい)察(さ)を(を)請(こ)う(う)て(て)い(い)る(る)。ラジオのスタジオ制作は、早朝(はやあけ)に出社して、2006(平成18)年7月1日からの地上デジタル放送。自社制作番組の取材や中継番組のため準備を始める。番組の企画、取材、編集、放送のフローチャートは、現行のYBSの「放送局の一日」では山梨の情報が、伝(つた)わ(わ)る(る)に(に)あ(あ)る(る)て(て)い(い)る(る)。



YBSグループニュースを放送するニューススタジオ

山梨放送は1954(昭和29)年7月1日、山梨での合間に流すコマースリアルテレビ・ラジオともに自社最初の民間ラジオ局として、またスタジオは常に工夫、常に開局。59(昭和34)年からは、重(おも)い(い)ス(ス)ト(ト)の(の)視(し)聴(てい)察(さ)を(を)請(こ)う(う)て(て)い(い)る(る)。ラジオのスタジオ制作は、早朝(はやあけ)に出社して、2006(平成18)年7月1日からの地上デジタル放送。自社制作番組の取材や中継番組のため準備を始める。番組の企画、取材、編集、放送のフローチャートは、現行のYBSの「放送局の一日」では山梨の情報が、伝(つた)わ(わ)る(る)に(に)あ(あ)る(る)て(て)い(い)る(る)。